

まえばしアーバンデザインのまちの遊び方

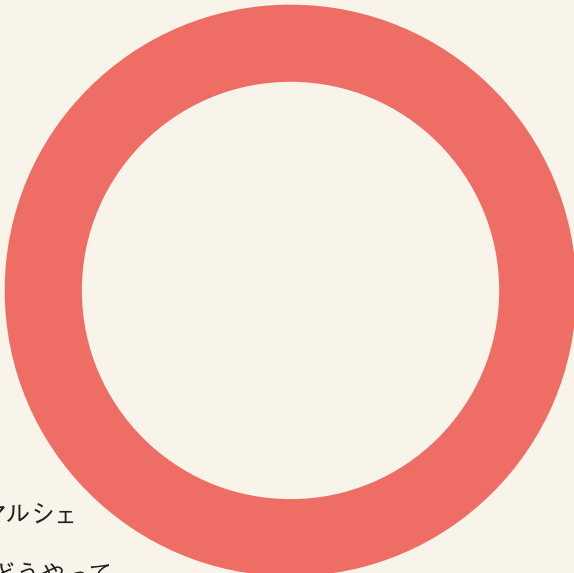
(オープンサイト編)



2024年3月発行
発行: 前橋市 都市計画部 市街地整備課

How to use Open Site in an urban-style town, Maebashi.

まちなかの オープンサ イトを遊び 尽くせ



小さい頃、道路の白線の外がマグマに
見えたように、大人になった僕たちが遊べ
る場所はまだ、まちの中にたくさん見つけら
れる。行き慣れたあのまちの広場で今日はマルシェ
やってみたい。こんな野菜見たことない。どうやって
食べるんだろう。ほら、まちのオープンサイトには出会いがあるんです。

_1. まちの魅力について

まち遊びの極意をまち遊び人に聞いてみた。	03
まちの顔となる3つの風景。	05
ここからめぶく、オープンサイト。	07

_2. オープンサイトを遊ぼう。

初級編 #1_イベントに参加してみる／#2_テイクアウトしてみる	09
中級編 #1_設えてみる／#2_巻き込んでみる	15
(超)上級編 #1_未来を想像してみる／#2_仲間とイベントを開催してみる	21

_3. 今すぐ遊べるまちなかオープンサイト集6選

no.1_中央イベント広場	29
no.2_広瀬川河畔小広場	31
no.3_広瀬川河畔緑地	33
no.4_まちなか駐輪場	35
no.5_前橋駅北口駅前広場	37
no.6_紺屋町広場	39

まち遊びの 極意を まち遊び人に 聞いてみた。

photo by 三橋 里奈

田中隆夫さん
前橋市産業経済部
にぎわい商業課 主任
マチスタント

前橋市役所職員(マチスタント)、まち遊び人、
二つの顔でまちを遊び倒している田中さんに、
その極意を聞いてみた。

— マチスタントって？

「マチスタント＝まちのアシスタント」。まちなかにやってくる面白い人たちの「何かやりたい」のサポートから、その事業化に向けて空き物件とのマッチングを行っています。

— 色々な遊びをしかけてますね。

「ストリートファニチャーエキシビション」は、クリエイターたちが自由な発想で公共空間を面白くする家具のアイデアを披露する場。公共空間を自分ごととして楽しむ場所があることはまちの深みになるんじゃないかな。あと「マチスタントの仲間マーケット」は、まちなか出店希望者や出店を叶えた人が一緒にイベントを開催するというもので、まちなかの先輩とつながることで、

応援し合うコミュニティが生まれたり、出店前にファンを獲得することに一役買っています。

— まちを遊ぶことの楽しさって？

自分が楽しいと思ったことを突き通すとエッジが立つ。エッジが立つと万人には受けないかもだけど刺さる人が数人いて、そんな仲間と一緒に何かやろうとすると楽しすぎて無敵。そういうコミュニティがまちにたくさんあるとお互い刺激を受けるし、このまちらしさにつながってくると思う。

— オープンサイトに望むことは？

自由な場所であってほしい。そして自由さを創るのは僕らユーザーだと思う。まずは面白いことをやってみて大丈夫だった、可能性がありそうだ、ならオフィシャルにやってみて…という試行錯誤、チャレンジが大事。その場所のルールを変える、創ってしまうぐらい面白いことができれば嬉しいよね。



Interview

まちの顔となる3つの風景。

市が策定した「前橋市アーバンデザイン」では、まちを構成する建築物のほか、街路、公園や広場などオープンサイトのデザインにより、目にする景色や風景の質を高めて視覚的な体験を豊かにし、さらにはそれらが積極的に使われる工夫について示しています。あくまでも、まちなみをキレイにすることに主眼を置いているのではなく、そこに介在する人々の活動（アクティビティ）が増え、豊かになることを目指しデザインの方向性を描いています。例えば、店舗には窓を多く設けることによって屋内の灯りや人の活動が街路へ漏れ出し、賑わいの演出となり街を歩きたくなくなる効果を生むこと。街区の角に特徴的な建物やランドマーク、しつらえが配してあれば、まちの表情に変化が生まれ前橋らしい魅力を高めること。空き地や平面駐車場といった低未利用地は資源として捉えて転換・再生することで、人々にとって身近で快適な文化的に活用できるオープンサイトとなること、などです。これら一つひとつは非常に小さな取り組みですが、中心市街地共有のビジョンとしてみんなで取り組むことで、一人の小さな活動から通りやエリアの大きな活動までスケールされることを期待しています。そして賑わいや楽しさ、居心地の良さや安らぎといった魅力とともに、前橋らしい文化が醸成され、やがてまちの顔となることを目指しています。私たちがまちを自由に豊かに遊べるようになれば、まちをどんどん楽しく感じることができます。まずはここ、オープンサイトから始めてみましょう。



ランドマーク

前橋だと県庁とか太陽の鐘とか。渋谷で「ハチ公前に集合！」って言えば必ず集まれる、そんな場所。

建築

大きかったり小さかったり、四角だったり三角だったり、お店だったりオフィスだったり、色んなものがある。



オープンサイト

聞きなれない言葉。でもどのまちにもある、みんなが自由に使える開かれた優しいまちの余白。

ここからめぶく、オープンサイト。



オープンサイトとは、誰でも自由に使える開かれたまちの遊び場のこと。歩き疲れたときは一休みしたり、子ども達が走り回ったり、イベントやマルシェが開かれたり、練習した演奏を披露する人が居たり…どう過ごしたいかという想像で無限に風景が変化する、高いポテンシャルを持つ場所なのです。また、オープンサイトは新たな「芽吹き」が生まれる場所でもあります。例えば、カレー屋をオープンしたいシェフが、お店を開く前にオープンサイトでポップアップストアを開くと、まちの人々の動きやどんな人が買いに来てくれるのか知れたり、お店が完成する前に多くの常連やファンを獲得できたりすることで、このまちでお店を持ちたいと決心することが出来るかもしれません。オープンサイトは、まちを豊かにする起爆剤なのです。

オープンサイトって例えば？

空き地

建物が建つ目的がないまま、放ったらかしになっている土地。雑草がすぐ伸びてしまうのでこまめなお手入れが欲しいところ。

公開空地

総合設計制度に基づくビルなどの開発対象敷地のうち、自由に通行・利用できる市民に開放された空地のこと。

駐車場

車を停める場所。まちなかには大きな駐車場が多々あり、前橋まつりや七夕まつりなどの大きなイベント時には屋台が並ぶこともある。

道路

人や車などの往来がある公共の場所。実は申請を行えば条件付きでイベントなどに使える場所もある。移動だけじゃもったいない。

公園

地域の中にある、市民のために整備された緑地などの空間。植栽の少ない都会では緑の癒しが大切。のんびり過ごすだけでも良い。

広場

公園とほとんど同じく、市民のために整備された空間。イベント広場、駅前広場など目的や場所の名前がついていることが多い。

「初級編」

オープンサイトを遊ぼう。

まち遊びマスターへの道は
ここから始まる。

オープンサイトを遊ぶにはまず外に出ないと始まらない。天気の良い暇な日は家から飛び出せ！行き慣れた場所でも君の気持ち次第ではまだまだ新しい発見があるぞ。まち遊びマスターを目指す君も、まずは小さなことから始めてみよう。思いつきや直感が大事だから、楽しそうだと思ったらとりあえずやってみて。

#1 イベントに 参加してみる

前橋のまちなかは実はイベントの聖地。

シーズン時には毎週のように
どこかのオープンサイトでイベントが行われている。
七夕まつりなどの三大まつりのような大きな規模から、
マニアックな古着屋が集まるコアなイベントまで。
よく観察すると、各イベントでオープンサイトの
遊び方が違うことに気づく。

オープンサイトは本当に器がでかい大した奴なのだ。
イベントを見かけたら興味ないふりして通り過ぎずに、
とりあえず見て回ってみると、
意外な出会いや発見が待っているぞ。

- a. 「馬場川パーク」にて車道を歩行者天国に。
子供達がチョークで絵を描いた。
- b. 「前橋バルストリート」にて車道に子供たちの遊び場や
肉バル系屋台が出現。
- c. 「小さな前橋蚤の市」とある店舗が仲間を集め
小さなイベントを開催した。
- d. 「前橋めぶくフェス」にて、
特製ドリンクを片手に参加者全員で乾杯をした。





#2 テイクアウト してみる

もし何もイベントがやっていなくても落ち込むことなかれ。
まちを歩けば魅力的なお店がたくさん現れてくる。
更にいつもと違う気分を味わいたければ、
例えばサンドイッチとコーヒーをテイクアウトして、
好きなオープンサイトを探してお手軽ランチ。
すっかり気分はシティボーイ&ガール。
家からお弁当を持参してピクニックするのもたまには良い。
働きすぎな現代人、これぐらいの休息は取っても良いのです。

- a. キッチンカーで好物を発見。たまらず食す。
- b. どこでも良い。座れる場所を探すのも楽しかったりする。
- c. 外で食べるとより美味しくなるピクニック効果。
- d. 柵に取り付ける机を持参して晩酌する強者まで現れた。

"a/c" photo by Naoki Ichinei

オープンサイトを遊ぼう。

「中級編」

オープンサイトの可能性が見えてくる。

オープンサイトで遊ぶコツがわかってきたら、次は自分が場所をつくる番になってみよう。ルール範囲内なら自分の好きな空間、時間を自由に創造することができるぞ。良い遊び場ができれば周りの人を巻き込んで共感の輪を繋げることを意識すると、いつの間にかまち遊び仲間ができていく。そうすると楽しさが倍になって、まちのことが更に好きになっていく。

#1 設(しつら)えて みる

自分のお店の前の敷地内にベンチを置くだけで、そこに人の居場所ができる。
こんな簡単なことで、まち遊びが加速するのだから驚きだ。
おでん屋台が出店しているオープンサイトに誰かがこたつを持ってきたら、「良いね最高だね」なんて言いながら、居合わせた人たちで大宴会になってしまう。
まだまだ日本も捨てたもんじゃないでしょ。
お店の中ではなかなか起きない難しいことが、オープンサイトだと起きちゃうし、できちゃうんです、これが。

- a. お店の外ににぎわいがあると気になって入ってしまう。
- b. こたつを出してみんなでおでんを食べる。マッチポンプマッチポンプ♪
- c. いきなり始まるお店の作戦会議。椅子と机があれば外で気持ちよく。
- d. 家庭菜園の野菜を売るついでに、趣味の雑貨もみんなにお披露目。





#2

巻き込んでみる

自分の好きなことや趣味を表現したいという人はこの時代、SNSで拡散することが多いけど、リアルな場で見せびらかすのも楽しい。オープンサイトというみんなの場所が、まちの人たちにとって第二、第三の自分を演じる特別な舞台となり、チャレンジの場となることで、みんなにとって居心地の良いまちづくりにつながるのかもしれない。好きなことを語るでも、似顔絵を描いてあげるでも、ボードゲームをするでも、巻き込み方は何でも良い。楽しければ良い。

- a. 今日はライブハウスを飛び出して外でジャズ演奏。
- b. 絵本の読み聞かせに子供達が吸い寄せられてしまう。
- c. 家族以外の人とは緊張するけどすぐ打ち解けられるのはボードゲームの魅力。
- d. まちかどにいつもと違う風景が1日限りで現れる。気になる。

超

「上級編」

オープンサイトを遊ぼう。

オープンサイトから見える
まちの将来像。

「この通りにこんなお店がたくさんできたら良いのに」「この場所でこんなことできたら楽しいのに」。すっかりオープンサイトを遊ぶことに慣れてきたあなたは、今そんなことを考えていることでしょうか。そんなあなたの「まちへの想いや妄想」を、オープンサイトで実験して、みんなでその未来について語ってみたいじゃない。

#1

未来を 想像してみる

前橋のまちなかで2021年から毎年開催されている【ストリートファニチャーエキシビション】は、広瀬川を舞台にプロアマ問わず多くのクリエイターが参画する野外家具の祭典。「広瀬川河畔にこんな家具があったら良いのに」というイメージのもと、みんな思い思いの家具を制作し設置する。未来像をみんなで想像し実験する楽しさが、まちを自分たちのものにするために必要なことなのです。



クリエイターたちが趣向を凝らした家具作品が至る所で体験できる。試行錯誤を繰り返しながら、少しずつこの場所の未来を創っていく。そこに関わることが「このまちに参加している」と感じることに繋がり、「このまちが好きだ」と思える自分に出会うことになるのです。



#2 仲間とイベントを 開催してみる

「前橋の素敵な生産者や飲食店、
雑貨店やアーティストを知ってもらいたい、応援したい」
というコンセプトで2017年に初開催となった、
前橋市のビジョンである「めぶく。」を冠する【前橋めぶくフェス】。
2016年に策定されたビジョンを
市民に体験してもらうことも目標の一つであった。
イベントの想いやメッセージを伝えるために会場設計に力が入る。
徹底された世界観は、多くの人に共感を生みだし、
同じ夢を見てくれるファンを獲得することができるのです。

- a. パレットで丘を作り、多様な居場所を計画。
- b. 商店街アーケードを生かして、100人で食卓を囲む。
- c. 一番大事なものは人と人とのコミュニケーション。
- d. 可愛いとんがりテントがこのイベントのランドマークとなっている。

今すぐ遊べる

まちなか オープン サイト集

6選

open site_no.1

中央イベント広場

open site_no.2

広瀬川河畔小広場

open site_no.3

広瀬川河畔緑地

open site_no.4

まちなか駐輪場

open site_no.5

前橋駅北口駅前広場

open site_no.6

紺屋町広場



中央イベント 広場



まちなかど真ん中の THE イベント広場。

まちなかでイベントをやるといったら、まずこの場所が思い浮かぶ。お客さん用の駐車場が真横にあり、まちなか唯一の百貨店・スズランのご近所かつ、連日賑わうストリート・中央通り沿いという立地なので、人通りの多いこの場所はイベントをやるにはうってつけだ。十分な広さを持った長方形平面で使いやすく、イベント時には電源や上下水道、トイレまで使用できるのはありがたい。

しかもこのオープンサイトには雰囲気バッチリな可動式のモバイルボックス、テーブル・屋台になるモバイル家具から、ハンドリフトで移動できる植栽やパレットが完備。そして更に、すぐ近くにはシェアキッチン「まちなか工房 CHU-BORN (チューボーン)」があり、温かい料理を調理・テイクアウトが可能。ここならあなたの思い描くイベント像がほとんど実現可能だ。



分類
広場

仕様
面積：約1,200㎡
寸法：74m×23m(最大)

管理者
(公財)前橋市まちづくり公社
まちづくり推進課

利用料
700円/4h～

申請の流れ
step1. 希望日の仮予約
step2. 利用申請書提出
step3. 審査・通知
step4. 利用可能



広瀬川河畔 小広場



小さくて可愛いけど 器のでかい場所。

広瀬川と立川町通りの交差点にあるコンパクトなオープンサイト。角地にあり三角形なのがチャームポイント。広瀬川沿いにあるので夏には涼しげな風が抜けていく。人工芝に寝そべるととても心地が良い。何よりも特徴的なのは隣の「キャバレー前橋ロンドンA館」。とっくの昔に閉館してしまっているが、バブル期には多くの人で賑わったことだろう。オープンサイト側からはネオン

看板と特徴的な壁面が見え、この場所の特異さを表している。道路を挟んで向かいにはあの岡本太郎の作品・「太陽の鐘」が。元々は伊豆のレジャーランドに設置されていたが、閉園後に日の目を見ず倉庫に保管されていたところ、前橋市のビジョンへの共感から譲ってもらえることになったとか。今は前橋の「芽吹き」の象徴として森の中から堂々とした音色を響かせている。



分類
広場

仕様
面積：約170㎡
サイズ：17m×11m(最大)

管理者
(公財)前橋市まちづくり公社
まちづくり推進課

利用料
140円/4h～

申請の流れ
step1. 希望日の仮予約
step2. 利用申請書提出
step3. 審査・通知
step4. 利用可能



緑地 広瀬川河畔



詩のように響く大きな川の音。

このオープンサイトは、柳橋から上電中央前橋駅前の久留万橋までの広瀬川沿い約1.2キロメートルの長い公園。「広瀬川白く流れたり…」と謳ったのは前橋市出身の詩人・萩原朔太郎。広瀬川沿いには広瀬川美術館や朔太郎記念館、太陽の鐘や郷土詩人の詩碑など、文化的な建築物、モニュメント、ランドマークが並んでいる。歩道の仕上げであるレンガも情緒的だ。近年前橋文学館

周辺と太陽の鐘周辺のエリアは車道を含めた再整備が実施され、明るくて居心地の良い憩いの場所となった。水面まで届く枝垂れの柳や、立派な桜が植わっており、春にはビール片手に花見を楽しむ人がちらほら。広瀬川は豊かな水量を運んでおり、ゴウゴウと大きな音を立てる。まちなかにこれだけの自然を感じられる場所があるなんて幸せなのだ。



分類
公園

仕様
全長約1200m
(再整備済エリアは全長約430m)

管理者
前橋市 公園管理事務所

利用料
物品販売：40円/㎡日

申請の流れ
step1. 事前相談
step2. 利用申請書提出
step3. 審査・許可書の交付
step4. 利用可能



まちなか 駐輪場



駐輪場？ いえいえ、オープンサイトです。

銀座通りにそびえる、まちなか唯一の百貨店・スズランのビル。そのお膝元、本館と新館の間の道路沿いにこのオープンサイトはある。この近くを通るほとんどの人が、ここが自由に利用できる場所だなんて感じたことは無いであろう。だって壁に駐輪場って書いてあるから。でも実は、この場所もれっきとしたオープンサイトなんです。銀座通りからは奥まわっていて、なおかつ隣には30mを超え

るスズランの巨大な壁面があることもあり、目立たずひっそりしている。が、よ〜く観察しているとこの欠点とも言える状況が、少しずつ面白く見えてくる。必死に考えて、みんなをアツと言わせる面白い使い方を実行できたら最高だ。少し上級者向けなこの場所は、普通のオープンサイトで遊び飽きた人にオススメ。これまでの知識・経験をフル活用しよう。



分類
駐輪場

仕様
面積：約100㎡
サイズ：10m×9m(最大)

管理者
(公財)前橋市まちづくり公社
まちづくり推進課

利用料
170円/4h〜

申請の流れ
step1. 希望日の仮予約
step2. 利用申請書提出
step3. 審査・通知
step4. 利用可能



前橋駅北口 駅前広場



駅近オープンサイト徒歩1分。 最高の立地。

県都・前橋市の玄関口、前橋駅。北口を出ると一直線に伸びた美しいやき並木通りがお出迎え。その手前、一般車ロータリーに囲まれつつ開けた場所にこのオープンサイトはある。南口にも広場はあるが、このオープンサイトは北口なので間違い無く。近くには商業ビル「アクエル前橋」や地上27階建のタワーマンがそびえ立つ。一休みできるような椅子やベンチは少ないが、とにかく

広くて目立つ。サイトのど真ん中には大きなシンボルツリー。まちなかまで早歩きで10分。駅を普段使うサラリーマンにとっては、出勤前にパン祭りが開かれていたら嬉しいし、帰宅前にビアガーデンでビール一杯飲んで帰るというのも良い。広さを生かして音楽イベントも開催できるだろう。駅前という立地を生かしたい。



分類
広場

仕様
面積：約600㎡
サイズ：29m×25m(最大)

管理者
前橋市 道路管理課

使用料
使用料金や使用条件等は道路管理課へお問い合わせください

申請の流れ
step1. 事前相談
step2. 使用申請書提出
step3. 審査・通知
step4. 使用料納付
step5. 使用可能



紺屋町広場



馬場川通りの小さな広場。

再整備が終わり生まれ変わった馬場川通り。広瀬川河畔緑地と同じくレンガ敷きとなり、車道と歩道がシームレスにつながり歩きやすい通りへと姿を変えた。ロンドン出身の世界的なプロダクトデザイナー、ジャスパー・モリソンがデザイン、一級建築士の高濱史子が設計・建築を担当した公衆トイレが完成したこともあり今注目を集めている通りだ。他にも白井屋ホテルをはじめ多くの飲食

店が軒を連ねているので、歩いていて楽しく居心地が良い。このオープンサイトはそんな馬場川通りの中ほどにある。コーヒー片手に休むのも良いし、利用申請して小さなマルシェを開くのも良い。中央イベント広場のモバイルボックスを持ってきて、1日限りの雑貨屋さんなんてサイズ的にもぴったりかも。想像が広がってきた。



分類
広場

仕様
面積：約60㎡
サイズ：9m×7m(最大)

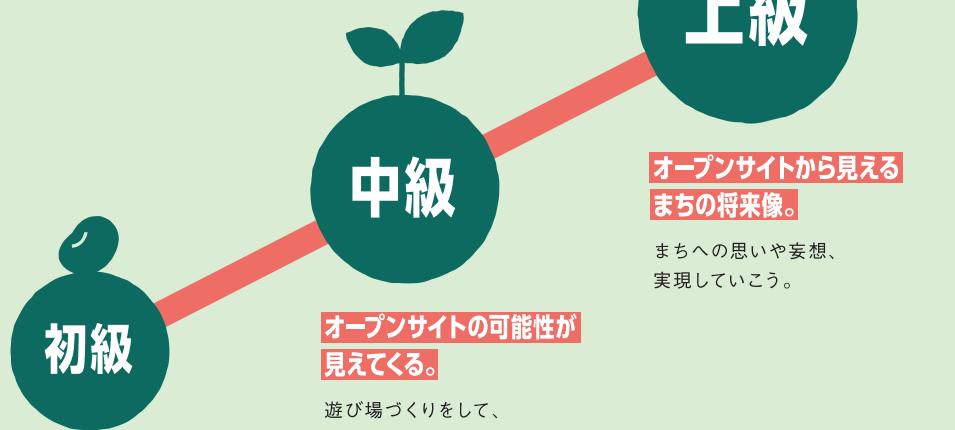
管理者
(一社)前橋デザインコミッション(MDC)

利用料
3,000円/3h～

申請の流れ
step1. MDCへ事前相談、
利用許可申請
step2. 結果通知
step3. 利用料納付
step4. 利用可能



まちのめぶきも、 まずは 小さなことから。



まち遊びマスターへの道は ここから始まる。

思いつきや直感が大事、
楽しそうならまずはやってみよう。

初級編はまずあなたの住むまちを知ることから始まります。そこにあるモノ、そこで起きているコトを楽しむ心がなければ、誰かが楽しい場所を作ることは多分できません。まずは今あるものを楽しむこと。

中級編に入ると、楽しい場所づくりのためにオープンサイトを設(しつら)える必要が出てきます。みんなの場所であるオープンサイトにはルールが存在するので、誰かにとって迷惑なレベルまで好

き勝手はできません。なので、オープンサイトの管理者に利用の申請をする必要が出てきます。面倒臭いかもかもしれませんが、このハードルを超えた先に、「楽しい」場所を生み出すことができるのです。

(超)上級編は、オープンサイトの枠を超えた試みとなります。オープンサイトから、まちの「楽しい」を考えること、それがまちの「めぶき」なのです。誰かの「楽しい」が集まっている場所、それがまちなのです。

最後になりますが、私たちは、皆さんのチャレンジ、試みを全力でサポートします。オープンサイトの遊び方について、お気軽にご相談ください。

オープンサイトから見える まちの将来像。

まちへの思いや妄想、
実現していこう。

オープンサイトの可能性が 見えてくる。

遊び場づくりをして、
遊び仲間を見つけよう。

オープンサイト募集中



「土地の魅力をアップしたい」
「空き地の使い道が思いつかない」
などの悩みをお持ちのオーナー様、
私たちと一緒に小さなことから始めてみませんか？
ご相談お待ちしております。



前橋市 都市計画部 市街地整備課

〒371-8601 前橋市大手町二丁目12番1号
TEL 027-898-6946
FAX 027-221-2361
MAIL shigaichi@city.maebashi.gunma.jp



オープンサイト
詳細はこちら

Credit スタッフクレジット

編集 一般社団法人前橋まちなかエージェンシー(MMA)
デザイン nanilani / 松澤美代(CONNECT Inc.)
イラスト 中嶋勇太(アルクタコ)

写真提供 Lo.cul.p
Naoki Ichinei
MMA
三橋里奈

印刷 朝日印刷工業株式会社

協力 株式会社 まちの開発舎
ルルルなビール
なか又前橋本店
白井屋ホテル
東和銀行本店営業部
しのめ信用金庫前橋営業部
(一社)前橋デザインコミッション(MDC)